

定年制を設けず、高齢従業員の活用を行っている中小企業

愛知県豊橋市の西島株式会社(従業員140名、資本金6,000万円)は、1924年に創業し、80年を超える業歴を有する専用工作機械製造業者である。受注後の設計から、材料調達、組立までの全工程を内製化し、高い技術力を有している。

「一生元気、一生現役」を経営理念の1つに掲げている同社は、定年制を設けておらず、従業員は、現役で働くことを望む限り働き続けることができる。賃金についても、一定の勤続年数を経た後に年功制から成果給に移行するため、高齢者であっても能力次第で社内のトップクラスの収入を得ることが可能である。このように、定年制により従業員のモチベーションを下げてしまうのではなく、従業員が年齢を重ねることにより、今まで蓄積してきた技術や経験を活かし、更なる進化を遂げることを期待している。

2007年には、同社に長年貢献してきた従業員に対する感謝の気持ちを伝える目的から、「勤続50年表彰制度」を設けた。同制度の創設時点で66歳の従業員1名(勤続50年)と73歳の2名(勤続56年と57年)が該当しており、彼らを表彰し、記念品の贈呈等を行った。

一方で、技術・技能の獲得には、現場で経験年数を重ねることが重要であることから、若手人材の採用・育成にも力を入れており、若年者から高齢者まで従業員の年齢の幅が非常に広がっている。そのため、若年者と高齢者の潤滑剤となる位置づけを期待する意味も含めて、比較的若い年齢の社員を管理職に起用するなどといった工夫も行っている。同社は、このような経営努力により、若手から高齢者まで全社員が一丸でモノ作りに取り組む体制を構築することに成功している。

